

2019年度スポーツ庁委託事業

長崎県武道等指導充実、資質向上支援事業 事業報告書

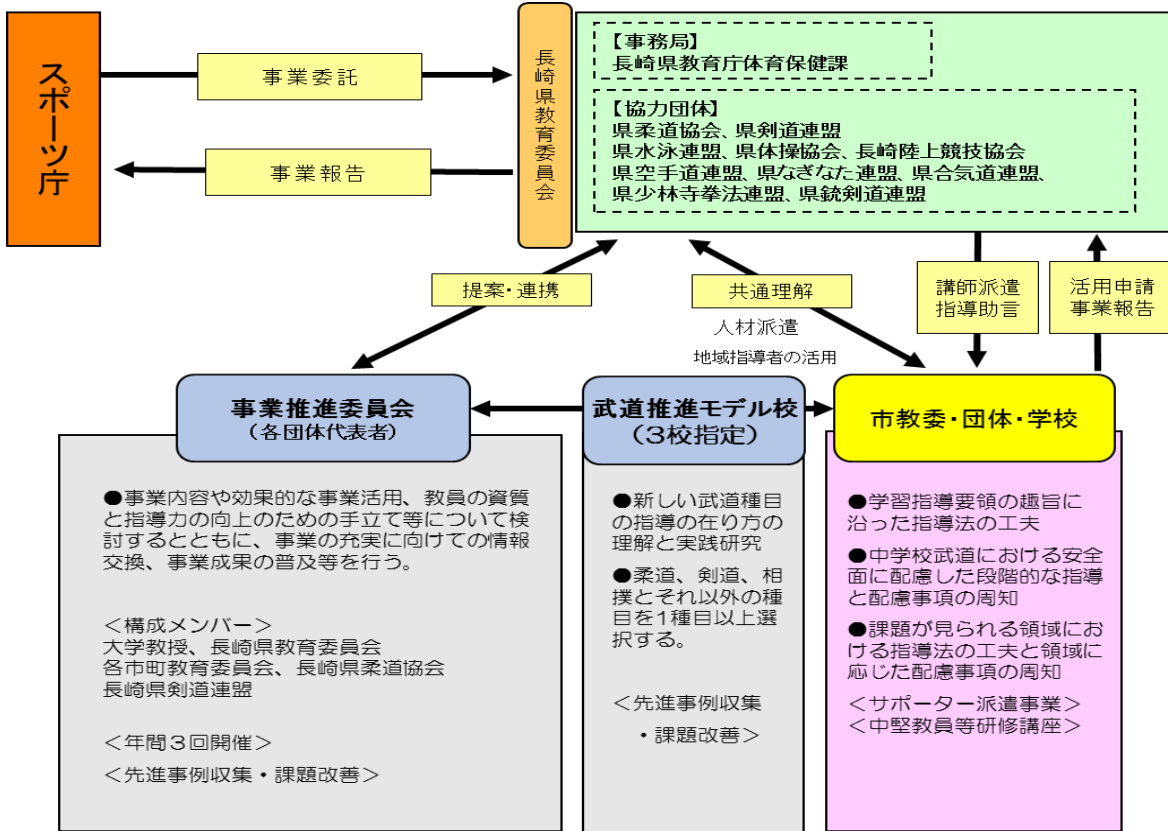


長崎県教育委員会

事業の目的

長崎県における武道等の指導の充実及び教員の資質と指導力の向上を図ることを目的としています。主に中学校武道における発達の段階に応じた安全面に配慮した学習指導の展開と、小学校教員で指導に不安を感じる等の課題が見られる領域について、教員の指導力の向上を図ります。

研究組織



事業内容 (実践事例)

1 事業推進委員会

大学教授、各市町教育委員会学校体育主管課担当者、関係競技団体者代表等からなる推進委員会を設置し、事業内容や効果的な事業用等について検討するとともに、事業の充実に向けた情報交換を行う。

- 第1回 9月13日(金) 県庁会議室
「事業のねらいと取組について」
- 第2回 12月11日(水) 長崎市立小ヶ倉中学校
「武道推進モデル校視察」
- 第3回 1月24日(金) 県立総合体育館
「事業報告会」



2 実技指導者養成講習会

指導に不安を感じている教員の指導力向上や資質向上を図る。著名な大学教授等を招聘し、学習指導要領に基づいた安全面に配慮した段階的な指導法について講義と実技を行う。また、県教育委員会主催の講習会を受講した競技団体の指導者を地域指導者として市町教育委員会主催の講習会の講師として派遣し指導内容の一貫性を図る。

【剣道】12月12日（木）佐世保市東部スポーツ広場体育館

講師 福岡教育大学 准教授 本多壮太郎 氏

【受講生の声】

- ・ 中学校の実態に応じた内容だったので、とても勉強になりました。
- ・ 教えるだけでなく、考えさせる指導を学ぶことができました。



3 指導力向上研修会

- ・指導力向上セミナーⅠ「体づくり運動系」 7月31日（水）講師 愛媛大学 教授 日野 克博 氏
- ・指導力向上セミナーⅡ「球技」 10月10日（木）" 早稲田大学 准教授 吉永 武史 氏
- ・指導力向上セミナーⅡ「ゲーム、ボール運動」10月11日（金） "



【受講生の声】

- ・運動が苦手な私でも楽しく学ぶことができよかったです。
- ・知識及び技能の育成を目指した授業作りのイメージが具体的に湧いてきました。
- ・タグラグビーは初めてでしたが、こんなに楽しいとは思っていませんでした。早速授業で実践したいです。

4 体育学習サポーター派遣（中学校の武道・小学校の課題が見られる領域の授業協力）

(1) ねらい

武道及び課題が見られる領域について、地域指導者（保健体育退職教員や競技団体指導者等）を学校の希望により小学校・中学校の体育授業へ派遣し、教員（T1）の計画に基づきT2として運動の示範、安全面に配慮した段階的な指導方法を用いた支援・運動の技能のポイントやコツの例示を行うことで、教員の資質向上・指導力強化を図る。

(2) 派遣対象

及び派遣実績

派遣時間：389時間

小学校：314時間

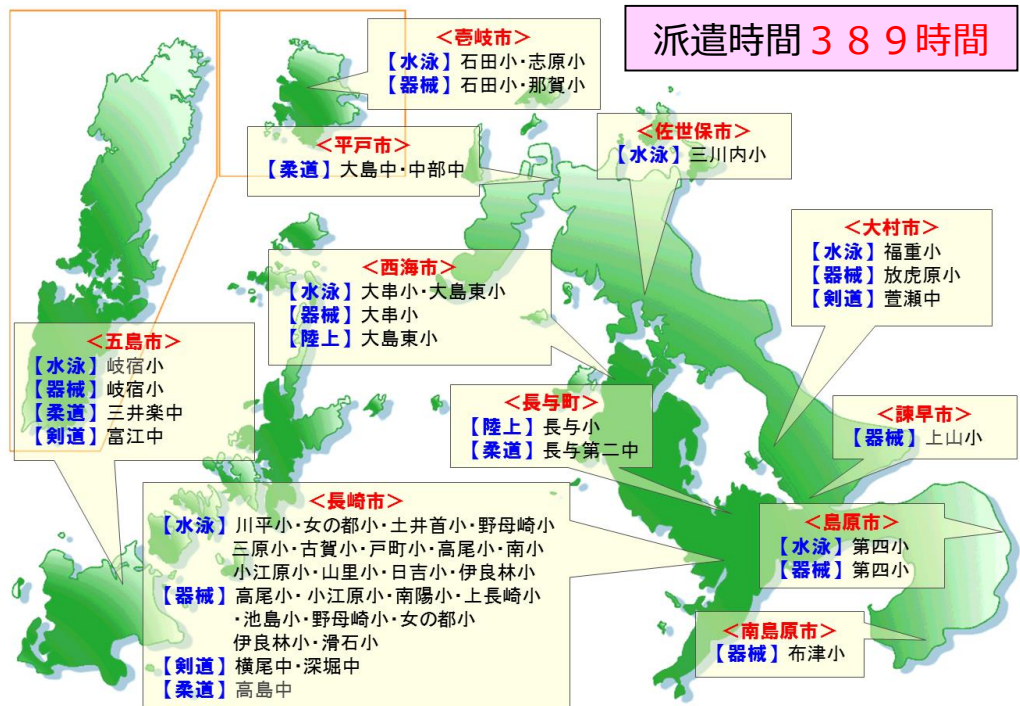
中学校：75時間

小学校：課題が見られる領域

- ・水泳 21校
 - ・器械運動 17校
 - ・陸上運動 2校
- 40校

中学校：武道

- ・柔道 5校
 - ・剣道 4校
- 9校



5 中堅教員等研修講座 (各地区におけるミドルリーダーの育成)

(1) ねらい

各市町教育委員会指導主事及び郡市研究部会代表者を各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成することで、体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。※ 対象受講者 24名

(2) 日時 12月20日(金)

(3) 会場 県立総合体育館 大研修室

(4) 講師 日本女子体育大学 教授 高橋 修一 氏

(5) 内容 講義及び質疑応答「中学校保健体育における学習評価について」



【受講生の声】

- ・今後の方向性の確認や理解の向上、深まりに大変役立ちました。
- ・協議をする中で、課題やそれぞれの先生方の悩みを知ることができ大変有意義でした。

6 武道推進モデル校指定校研究

- ・佐世保市立日野中学校 空手道 (8時間) 外部指導者 佐世保尚武館 館長 安里 廣之 氏
- ・長崎市立淵中学校 空手道 (6時間) " 日本空手道連合会九州地区協議会 中平 良一 氏
- ・長崎市立小ヶ倉中学校 合気道 (8時間) " 合気道悠歩塾 代表 磯部 三男 氏



生徒の声

～武道推進モデル校指定校研究 生徒アンケート集計結果～

(1) 今回の種目をまたやってみたいと思いましたか。

	思う 4	3	2	1 思わない	総計
人数	111	140	63	12	326
%	34.0%	42.9%	19.4%	3.7%	
	76.9%		23.1%		
	思う		思わない		

(2) 他の武道種目もやってみたいと思いますか。

	思う 4	3	2	1 思わない	総計
人数	138	142	39	7	326
%	42.3%	43.6%	12.0%	2.1%	
	85.9%		14.1%		
	思う		思わない		

成果と課題

(1) 成果

- 事業推進委員会において、課題を明らかにし、次年度に向けての方向性を示すことができた。
- 実技指導者講習会(剣道)では、安全面に配慮した段階的な指導法を具体的に理解することができた。
- サポーター活用において、児童生徒が運動の行い方やうまくなるコツを知ることができた。
- 中堅教員等研修講座受講者が、新学習指導要領における学習評価についての理解を深めることができた。
- 武道推進モデル校指定校研究では、初めて経験することで多くの事を学ぶことができたと共に、他の武道種目もやってみたいという気持ちが湧いた。

(2) 課題と今後に向けて

- サポーター派遣は、児童生徒に対する直接的な効果よりも教員の資質向上が主なねらいである。
- 中堅教員等研修講座の内容を、各地区の研究部会等で伝達して欲しい。
- 武道推進モデル校指定校研究を継続し、多くの生徒に多様な武道に触れさせたい。